

ベナンの風便り

2009年6月号

みなさん暑い日が多くなってきた頃だと思いますが、いかがお過ごしでしょうか？ベナンへ赴任して約1年が経ちました。今のところ風邪をひくこともなく、マラリアにかかることもなく元気に生活しています。みなさんも体調管理にはしっかり気を付けてくださいね。

ベナンは学校が長期休暇に入り（本来ならば約2か月半ですが、実際には様々なことが原因で約4か月におよびます）、町中で子供たちの姿を見ることが増えました。その中には遊んでいる姿だけでなく、働いている姿も。この前スクラッチカード売りとして働いている小学6年生くらいの子供に聞いたところ、1日に稼ぐことができるのは約500フラン（約125円）。その中からちょっとした食事代をひくと約350フラン（約87円）しか残りません。8：00から17：00まで働いてですよ。そしてベナンの子供たちは働くことや家の手伝いをするを当然だと思っています。みなさんも家で何かひとつでも手伝いをできるといいですね。

さて以前ベナンには四季がなく、雨季と乾季しかないということをお伝えしました。そしてその季節によって生活を大きく変える地域があります。今回はその地域を紹介します。

季節で生活を変える人々



上の2枚の写真をよく見てください。何か気がつくところはありませんか？そう、同じ様な塔が見えますね。実はこの2枚の写真、まったく同じ場所なのです。塔の前に見えるのは温泉が出ているところで、村の人たちが生活用水として使っています。ここはウェメ川という川沿いに位置する村。乾季と雨季で人々の生活が大きく変わります。

日本でも昔は雨の多い時や台風のと看などに川が氾濫し、洪水等の水害に悩まされてきました。そのため輪中をつくったり、堤防やダムを作ったりし治水をしてきました。しかしながらここでは水と共に生活する道を選びました。（もちろん堤防などを作ることができないことが大きな理由ですが・・・）家を高床式にし、雨季には船で移動をします。（左：乾季、右：雨季）登校する時のみならず、校舎を移動するときでさえ船移動です。



また生計の立て方も季節によって違ってきます。乾季は雨季の間に川の氾濫によって運ばれた肥沃な土の積もった大地で農業。キャッサバやトウモロコシ、唐辛子などを作って収穫しています（左下）。そして雨季は漁業をして生計を立てます（右下）。



雨季の水上での生活はとても不便のように感じますが、水浴びや洗濯、そしてトイレもすべて家のまわりにある水で済ますことができます。そして水上の家は風が抜けてとても涼しいです。その地での生活を続けるのにはやはりそれなりの理由があるのですね。



ブログ更新中

ベナンの風：<http://benin.seesaa.net/>